

MY WAY

八柳 修之

「私の道、私の方法」 齢 80 を超える頃から、例会でのスピードについて行けなくなった。歩かなければやがて歩けなくなりボケへの道が始まる。今ではFWAと結ぶ糸はメイトのシール作成、会報の編集委員とバーチャルウォークへの参加である。私の散歩道は家を出て新林公園から江ノ島道に出て境川左岸へ。



新林公園の藤 5月3日

いつも鶉が水道管で羽を休めている。源頼朝が鞍をかけて渡ったという馬喰橋、この辺り、かつて荷積み河岸の片瀬湊、年貢米を江ノ島の西浦まで運んだ。新屋敷橋の角にはPINY, 時々パンを買う。片瀬山へのキツイ道は片山忠夫さんの散歩道。橋を渡って右岸へ。ゆったりと川は流れる。ながら歩きは美空ひばりの川の流れを聞きながら、シナトラのMY WAY~And now, the end is near. 後ろ向きになってばかりはいけない。前向きに。平野武宏さんは「寅さん歩」の原稿の構想で頭の運動も、金子勝彦さんは川柳を考えながら、クンパルシータのタンゴのリズムで、ウルグアイの第二国歌、行進曲でもある。3拍子は歩きも軽やかになる。軍艦マーチもだ。曲が先にあるって歌詞がついた高校の

校歌、もう甲子園で聞くことはない。陸自の鶉(つぐみ) 真衣陸曹の 365 日紙飛行機、声もキレイだが表情も汚れのない美しさ。声がキレイなフリオ・イグレスィアスのアモール、アンディ・ウィリアムスのモア。もっと歩こう。アームストロングの What A Wonderful World になる。ヤオコーで時々お買い物。

上山本橋はかつて石上の渡し、舟を並べた橋があり、江ノ島詣の人々を運んだ。町おこしのため夏季休日、川下りを観光協会に提案したが不採用。上山本橋から奥田橋にかけては、時折、カモメの群れが飛来し羽を休め、海鶉が獲物を漁り、遡上して来たボラがジャンプしている。奥田公園で子供たちが遊ぶ姿を見て一休み、川沿いの新川名橋へ桜並木は見事。新川名橋の少し手前が海から4kmの表示。境川と柏尾川の合流点、橋の下にはソウギョがいつも群がっている。歩いた距離約7000歩、4.5km。記録帖2コマを塗りつぶして、現在「中仙道」高崎宿106kmを通過したところ。



奥田橋から右岸の桜 3月28日